

地域農業の明日を考えるシンポジウム2025

ー 地域の合意形成で築くみやぎの農業の未来 ー



共助の精神が育む活気ある農村コミュニティー



フリーストール畜舎による和牛繁殖生産



ふるさとの誇り“高城ごぼう”



集約化され地力を高めた水田での乾田直播作業

日時 2025年12月3日（水）午後1時30分～午後4時
会場 **アインパルラ浦島**
（大崎市古川李塚3-2-2 0229-24-8833）
定員 180名

出席の申込みは
裏面をご覧ください
どうぞお早めに！

基調講演

農用地の効率的かつ総合的な利用の実現へ向けた将来展望
講師 東京農業大学教授 堀部篤氏

事例報告

全戸参加型の集落営農により進化を続ける
農村コミュニティー
講師 農事組合法人下高城ふぁあむ
代表理事 早坂成弘氏
（第54回日本農業賞大賞受賞）

事例報告

生産組織の結いと資源循環型農業を強みに
先進的な農業経営を実現
講師 有限会社エヌ・オー・エー
代表取締役 高橋良氏
（第52回日本農業賞大賞受賞）

豊かな農村コミュニティーと持続的に発展する農業経営が地域の合意形成によって実現！

主催

公益社団法人 みやぎ農業振興公社
宮城県担い手育成総合支援協議会

公社HPからも
ご覧頂けます



農用地の効率的かつ総合的な利用を実現するためには、多様な人材を含めた農業者間の信頼関係に基づく地域合意形成が欠かせません。

また農業経営の持続的な発展へ向けては、資本装備や作業体制、耕畜連携に基づく資源循環、地域の特色を生かした事業展開等、地域を支える農業者の相互連携が大きな力となります。

このような信頼関係や相互連携に基づく地域合意形成の取組強化をテーマとして、みやぎの先導的な取組等を学び、県内各地域の取組の参考にしていただくためのセミナーです。

講師紹介

東京農業大学教授 堀部篤氏

- ・ 全国農業会議所職員を経て東京農業大学国際食料情報学部 H26～准教授 R2～教授
- ・ 農地制度、農地集積、水田農業、担い手の経営展開、新規就農等に係る実証的な研究を推進
- ・ 宮城県の農業現場の課題についても調査、検討、提言等を頂いている

農事組合法人下高城ふぁあむ（色麻町）
代表理事 早坂成弘氏

- ・ ほ場整備を契機に「地域に合った持続可能な農業のかたち」の話し合いを積み重ねて法人設立
- ・ 全員参加の丁寧な管理作業と大型農機の効率作業により水稻を安定生産
- ・ 砂地が多い立地条件を生かし、ごぼう生産に取組み「高城ごぼう」としてブランド化
- ・ 集落営農の中で安定した組合員への配当を実現、活気ある農村コミュニティ活動を推進

平成26年農事組合法人設立
組合員28名、水田75ha

第54回日本農業賞大賞受賞

有限会社エヌ・オー・エー（登米市中田）
代表取締役 高橋良氏

- ・ 地域の「生産組織間の結い」により作業の相互補完や効率作業の体制を実現
- ・ 分散していた受託農地を地域ぐるみで集約・団地化し効率的な農地利用を実現
- ・ 当社の農地は事務所から2km以内へ集約化
- ・ 自らの大規模水田・肉牛繁殖複合経営を中心に、地域の資源循環型農業を実現
- ・ スマート農業機械と繁殖牛ICT管理を有効活用、次世代人材を確保育成

平成12年有限会社設立
水田93ha、黒毛繁殖124頭

第52回日本農業賞大賞受賞

参加申込 FAXの場合 FAX **022-275-9195** 下記によりお送りください。番号をお間違えなく。

市町村名（旧市町）または所属・職名	氏 名	連絡先電話番号

参加申込 メールの場合 送信先: **sinpo2025@miyagi-agri.com**

メールの本文に、市町村名（旧市町）または所属・職名、氏名、電話番号を記入願います。
主催者から受信確認の連絡を差し上げます。右のQRコードからもメール送信可能です。



申込期限

令和7年11月25日（火）まで
ただし定員になり次第、締め切らせて頂きます。
お申込いただいた方の個人情報は、本研修会に関する以外の目的には使用しません。

お問合せ・申込先

（公社）みやぎ農業振興公社担い手育成部
宮城県担い手育成総合支援協議会事務局
TEL 022(342)9190 FAX 022(275)9195

